

2025 年 4 月 22 日

## 臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

### 1. 研究課題名

慢性硬膜下血腫被膜の血管新生における Tenascin-C シグナル伝達系の役割

### 2. 研究責任者

海南病院脳神経外科 和田 健太郎

### 3. 研究の概要

慢性硬膜下血腫は、軽微な頭部外傷後の高齢者において発生し、頭蓋内に徐々に血腫がたまり、麻痺などを発生する疾患である。その発症や進行過程において、血管新生や炎症性サイトカインとの関連性が報告されている。血管新生を誘導するTenascin-C関連蛋白やそれらの刺激因子となる炎症性サイトカインの解析を行い、慢性硬膜下血腫の臨床経過との関連について検討する。それに基づく新たな治療法の開発を目的としている。

### 4. 研究方法

#### ① 対象となる患者さん

外来および救急受診にて慢性硬膜下血腫と診断された患者さん

#### ②使用する試料等

慢性硬膜下血腫の穿頭術を行う際に採取する血腫や被膜を使用しますが、最終的には廃棄する試料を用いますので、患者様には新たにご負担していただくことはありません。血腫内の Tenascin-C を測定し、血腫被膜を用いて血管新生に深く関与する蛋白の発現を Western blot analyses で検討し、更にこれらの蛋白質の発現部位についても免疫組織学的にも検討します。また Tenascin-C のシグナル伝達系の活性化の程度と診療情報の相関関係についても解析を行い、臨床経過との関連を検討予定です。

### 5. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や

学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報はありません。

6. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 脳神経外科 和田健太郎

電話：0567-65-2511（代表）